



2025年5月号 (No.25)

多気町立図書館だより

TEL0598-38-1133 (多気図書館)

TEL0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.takikawa.jp/library/index.html>

『よりぬき日本の昔話 ももたろう ほか』
『よりぬき日本の昔話 ざるかにがっせん ほか』
小澤俊夫/著 福音館書店 (913円)

昔話は、人から人へずっと語り継がれてきた
人生の知恵。

お子さんに読み聞かせるのもよし! 懐かしんで読む
のもよし! 昔話にはどの世代にも心に残る大切なもの
があります。

家族みんなで楽しめてはいかがでしょうか?・

多気図書館

5月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30~				1	2	3 おはなし会
4	5	6	7	8	9 おはなし おもちや	10 おはなし おけつこ
11	12	13	14	15	16 あやちゃん おはなし 会	17
18	19	20	21	22	23	24 おはなし おけつこ
25	26	27	28	29	30 整理日	31

ブックスタート (のびのび) 5/28(水) 10:00~

~コーナー紹介~

●グリーン・グリーン・グリーン

気持ちの良い新緑の季節。
いろいろな緑を集めました。



●大きい小さい

目に見えないほどの小さなものから、巨大な巨大な
大きいものまで、いろんな大きい小さいが大集合!

勢和図書館

5月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30~				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10 おはなし会
11 はんと カフェ	12	13	14	15	16	17
18	19	20 おはなし会 (0~3歳)	21	22	23	24 おはなし会
25	26	27	28	29 整理 講座	30 整理日	31

~イベント紹介~

●新緑のほんとカフェ ※詳しくはチラシをご覧ください
と き: 5月11日(日)

10:00~新緑のおはなし会(おはなしゆりかご)

11:00~おむすび「むすびや」とくさん登場!

13:00~カフェスタート

14:00~ジャズコンサート(幸田さん・高橋さん他)

コラボ: 幸の太陽/ハニさん BOKKAさん 金川珈琲さん

●音読講座~健康寿命、延ばします!~

と き: 5月29日(木)10:00~11:30 (要申込 5/9(金)~)

FB・Insta→「多気町立勢和図書館」

か「gogwalib」で検索



5月のおすすめ本



『小さな車で、ゆるり豊かなひとりと旅』 野外のもりこ: 著 KADOKAWA (291円)

特別なことは何も起こらないけど、静かなゆったりした時間が流れる旅の様子が描か
れています。軽自動車で旅する手軽さと、いろんなアイデアで無限大の旅の楽しさを
教えてください。季節ごとの旅写真と手書きのイラストもほのぼの。

気持ちのいい季節! コーヒー片手に、ちょっとそこまでお出かけしませんか?

『世界の紙を巡る旅』 渡江由唯: 著 烽火書房 (585円)

世界の紙に出会うため、仕事を辞め、勢いよく旅に出た。

アジア、ヨーロッパの各国を巡り、現地の手書きの紙に出会う。場所により紙は違えど、
昔から続く手法から、紙に込められた丁寧な思いが伝わってくる。

伝統的な昔ながらの技術を守っていくには何が必要なのでしょう...



『いちばん大切な食べもの』 小泉武夫・井出留美: 著 筑摩書房 (610円)

令和の米騒動。海外からの輸入問題。どんどん厳しくなってくる私たちの生活。

そもそも日本は輸入に頼りすぎている。日本の食料自給率はなんと38%! 自給率を
上げることがなぜ困難なのか?

国が、私たちが、自分たちの食のために意識していかなければならないことは。

『ロイヤルホストで夜まで語りたい』 朝井リョウ 他: 著 朝日新聞出版 (673.9円)

数あるファミリーレストランの中でもちょっと高級なロイヤルホスト。そんなロイホを
愛する豪華著名人がロイホへの愛を綴っています。一流フランス料理店のシェフが「一般
の人の手に届き、それでいて舞臺感のある店を作ろう」と始めたお店。残念ながら三重県に
はお店がありませんので、県外で見つけたときは立ち寄ってみてはどうでしょう?



『鷹をこえて会いに行く』 影瀬 まる: 著 実業之日本社 (F913.6円)

東北・北海道新幹線に乗って、あの人に会いに行く。たいした用事があるわけじゃ
ない。でも会いたいあの人に、久しぶりに会いに行く。コロナ禍で疎遠になってしまっ
た家族や友人、それぞれの大切な人に会いに行く物語です。人と人の絆って、やっぱり
お互い会って、話して、理解して、深めていくもの。優しい読後感の短編集です。

『11ミリのふたつ』 砥上 裕将: 著 講談社 (F913.6円)

たった7.5グラム。たった11ミリのふたつの星が、私たちに世界を見せてくれている。
それはまるで魔法みたいに綺麗な世界。毎日当たり前のように私たちに降り注がれる世界
だけれど、なんて尊いんだろう...

シリーズ『7.5グラムのキセキ』と合わせてどうぞ。

